

トラック輸送情報（平成18年5月分）

平成18年8月11日

国土交通省総合政策局情報管理部交通調査統計課

担当：浅見、安達 内線28315

直通：03-5253-8344

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

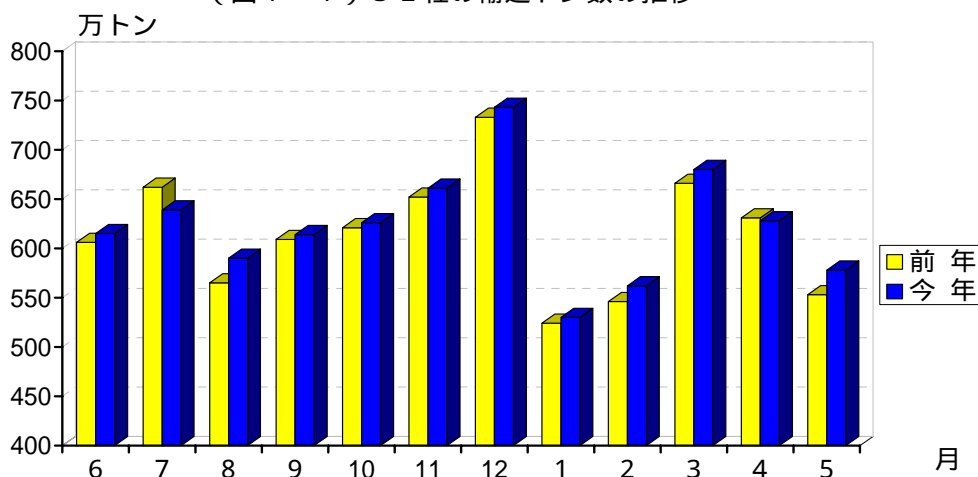
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、5,778,615トンで、前月と比べ、総輸送量が約50万トン減少したため、前月比92.0%（季節調整済み97.3%）、前年同月と比べ、約25万トン増加したため、前年同月比104.5%の実績であった。

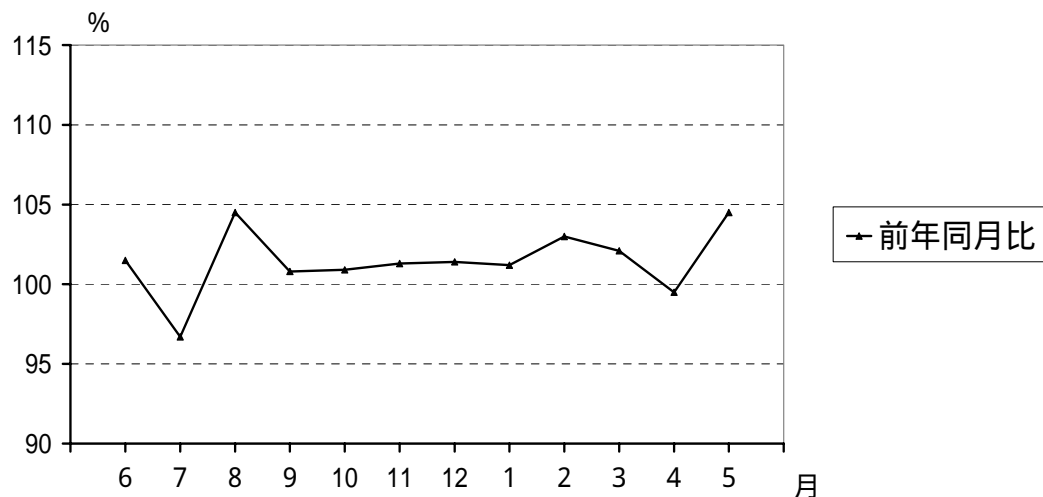
なお、平均稼働日数は23.4日で、前月と比べ0.3日の減少、前年同月と比べ1.5日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、246,949トンで、前月と比べ、約1万8千トン減少したため、前月比93.2%、前年同月と比べ、約6千トン減少したため、前年同月比97.8%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

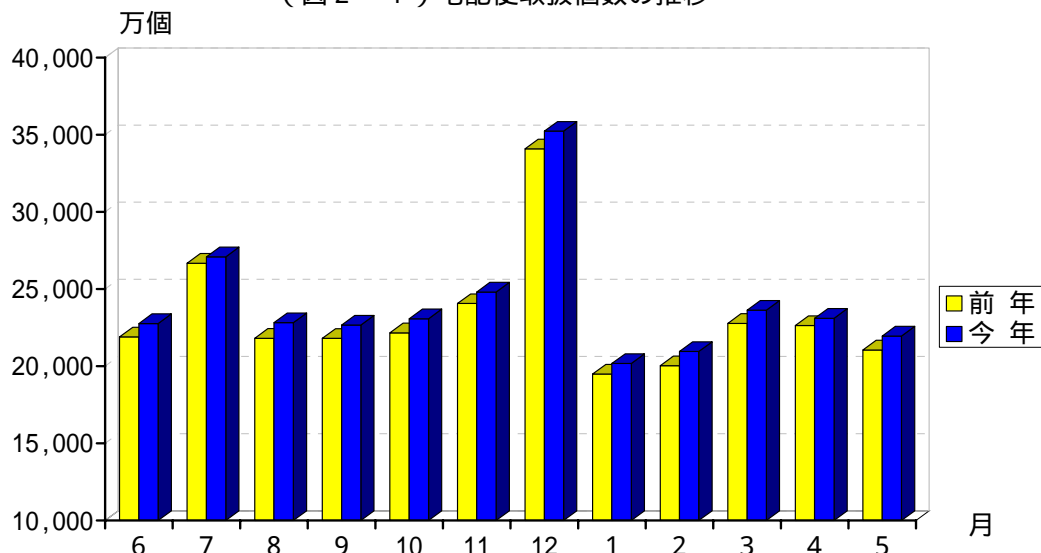


(2) 宅配便の概況

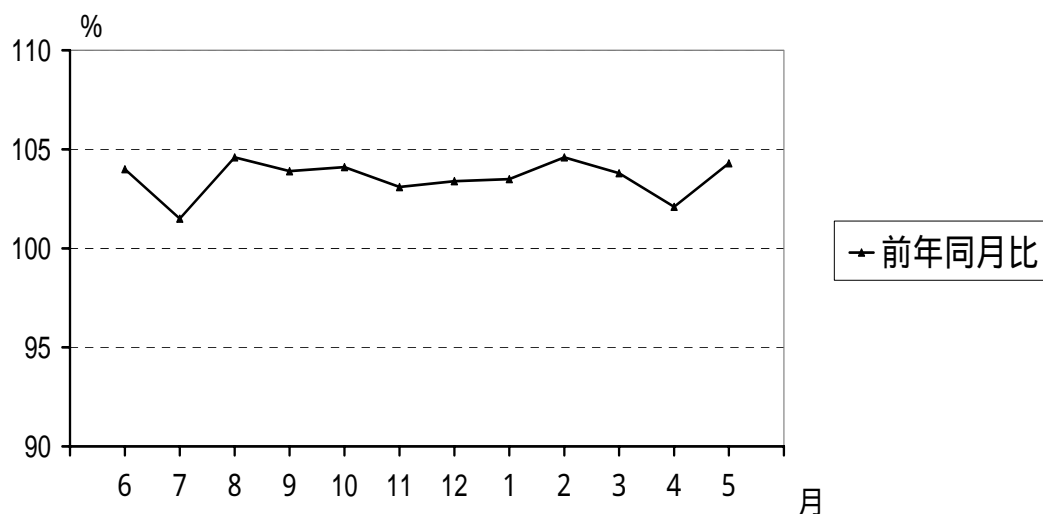
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、219,553 千個で、前月と比べ、約 1,149 万個減少したため、前月比 95.0% (季節調整済み 98.5%)、前年同月と比べると、約 908 万個増加したため、前年同月比 104.3%の実績であった。

(図2-1、図2-2参照)

(図2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、連休などに伴って、平均稼働日数が減少したことから、全ての品目で減少が見られた。理由としては、工場・生産地からの貨物減、季節的需要減であった。また、化学工業品、繊維工業品、食料工業品では倉庫から出る貨物減も見られた。地域的には、金属製品が兵庫、東京、関東、大阪、中国、機械が東京、神奈川、北陸信越、大阪、中国、化学工業品が大阪、中国、繊維工業品が中国、食料工業品が関東、東京、中国、日用品が関東地方、中国、その他(宅配便、百貨店配送品)が関東地方を中心に、それぞれ減少した。

前年同月と比べると、農水産品、金属製品で工場・生産地からの貨物減が見られた。一方、化学工業品、食料工業品、日用品では工場・生産地からの貨物増が見られた。地域的には、農水産品が中国、金属製品が北陸信越を中心に、それぞれ減少した。一方、機械が大阪、兵庫、中国、化学工業品が兵庫、神奈川、繊維工業品が神奈川、大阪、兵庫、中国、食料工業品が中国、日用品が北海道、神奈川、その他(宅配便、百貨店配送品)が関東地方を中心に全国でそれぞれ増加した。この結果、全体としては、対前年同月比 104.5%となった。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前月に比べて	農水産品	1	1	12	3	1	青果物、野菜	中国	4
							野菜	東北、関東	4
	金属製品	1	1	14	10	1	その他の金属製品	東京、神奈川、関東、北陸信越、大阪、兵庫、中国	4、8
	機械	1	1	12	12	1	その他の機械、機械部品	神奈川、北陸信越、中国	4、8
	化学工業品		2	15	12		その他の化学工業品、合成樹脂、塗料、化学薬品	関東、北陸信越、大阪、中国	4、7、8
	繊維工業品		1	21	6	1	織物、糸	中国	4、7、8
	食料工業品		1	18	7	1	加工食品、飲料、その他の食料工業品	東北、東京、関東、中国	4、7、8
	日用品		1	13	14	1	その他の日用品、書籍・印刷物、文具、玩具	関東地方、愛知、近畿地方、中国	4、5、8
その他		1	15	10	2		関東地方、愛知、大阪、兵庫、中国	4、8	
前年同月に比べて	農水産品			12	4	2	野菜	中国	4
	金属製品	1	1	21	3	1		北陸信越	4
	機械		2	20	4	1	その他の機械、機械部品	神奈川、大阪、兵庫、中国	4
	化学工業品		4	17	8		その他の化学工業品	神奈川、大阪、兵庫	4、7
	繊維工業品			21	7	1		神奈川、大阪、兵庫、中国	
	食料工業品	1	6	13	6	1	飲料、加工食品	東北、関東、中国	1、4
							飲料		
	日用品		4	17	7		その他の日用品	北海道、神奈川、関東	4、5
その他		4	19	5			神奈川、関東、全国	4	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県)]単位である。

増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2 . 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 836 社 / 調査対象事業者数 1,076 社）の輸送量は、前年同月比 101.9%、前月比 102.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前年同月比・前月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	101.9%	102.0%	103.6%	105.8%	99.8%	97.0%	104.8%	101.9%	100.3%	102.1%	104.2%
前 月 比	102.4%	128.3%	100.1%	96.4%	94.1%	93.4%	94.9%	92.9%	96.5%	96.0%	101.3%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比は 128.3%であった。品目別には、季節的な需要減により、「その他の石油製品」、「取り合せ品」が減少したものの、融雪期を迎えて各種工事が活発化してきたことに伴う「砂利・砂・石材」等の工事関連資材の輸送が増加し、また農業関係の「動植物性飼・肥料」の輸送量も増加した。対前年同月比は 102.0%であった。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 100.1%であった。品目別には、5月に入り「その他の石油製品」の輸送量が減少した。また、稲作等の農繁忙期の時期も過ぎたことから「化学肥料」も減少した。一方、「穀物」、「工業用非金属鉱物」がそれぞれ増加した。対前年同月比は 103.6%であった。今後の輸送見通しとしては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 96.4%であった。品目別にみると大型連休にあわせた需要増があった「日用品」の増加が目立った。一方、季節的需要減により「化学肥料」、「取り合せ品」が、その他「機械」が減少した。しかし対前年同月比で見ると 105.8%と前年を上回る数字となった今後の輸送見通しは、引き続き次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸 信越	<p>本月の輸送は、対前月比 94.1%であった。品目別には、「穀物」、「木材」、「紙・パルプ」が増加した。一方、季節的需要減により「その他の石油製品」の減少が見られた他、「鉄鋼」、「その他の窯業品」、「化学薬品」でも減少が見られた。対前年同月比 99.8%あった。今後の輸送見通しは、次月及び以降とも横ばい傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 93.4%であった。品目別には、「紙・パルプ」が増加したものの、建設関係により「機械」が、その他「金属製品」、「セメント」、「日用品」、「その他の製造工業品」が減少した。対前年同月比 97.0%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 94.9%であった。品目別には、季節的需要増により「取り合わせ品」が増加した。一方、「機械」、「その他の化学工業品」などが減少した。対前年同月比 104.8%であった。今後の輸送見通しは、次月は増加傾向、以降は横這い傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、ゴールデンウィーク期間の長期大型連休による稼働日数減が輸送量に影響し、多くの品目が減少し、対前月比 92.9%であった。品目別には、特に「鉄鋼」「その他製造工業品」などがその影響を受け、輸送量が下落している。また、天候不順により雨天が続いたため、建設業関連の品目「セメント」「木材」が減少した。3月、4月の引越需要が終わり、「取り合せ品」も減少した。一方、夏場に向け清涼飲料水を中心とする出荷が目立ち、「食料工業品」が増加し、その他「紙・パルプ」も増加した。対前年同月比は 101.9%であった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 96.5%であった。品目別には、建設関係により「セメント」、季節的需要増により「日用品」、その他「砂利・砂・石材」、「食料工業品」などが増加した。一方、季節的需要により「揮発油」、「その他の石油製品」が、その他「野菜・果物」などが減少した。対前年同月比で 100.3%であった。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 96.0%であった。品目別には、季節的需要減に併せ、原油価格高騰による需要減により、「その他の石油製品」が減少し、その他、「機械」、「その他の化学工業品」が減少した。一方、季節的需要増により、「野菜・果物」、「その他の農産品」が増加し、その他、「廃棄物」などが増加した。対前年同月比 102.1%であった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比で 101.3%であった。品目別には、「食料工業品」（ビール・飲料水）が増加した。一方、季節的需要減により「取り合わせ品」（引越し荷物）、「その他の農産品」（切り花（菊））が減少した。対前年同月比 104.2%であった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目	運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
	増	減											
1. 穀物	増			2		2					1		5
	減										1		1
2. 野菜・果物	増			1		1				1	6		9
	減			1	1	1		1	1	3	5		13
3. その他の農産品	増		1						1		2		4
	減		1				1		1			1	4
4. 畜産品	増		1						1				2
	減												
5. 水産品	増		1							1	1		3
	減		2	1			1	1					5
6. 木材	増		2	1		3					1		7
	減		3	1		1			2				7
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増					1					1		2
	減		1						1				2
9. 金属鉱物	増												
	減												
10. 砂利・砂・石材	増		25	2		2			2	2	5		38
	減		2	1		2			1		5		11
11. 工業用非金属鉱物	増		2	3					1				6
	減							1					1
12. 鉄鋼	増			2		1		1	1		2		7
	減		1	1		3		1	4		2		12
13. 非鉄金属	増												
	減					1		1	1				3
14. 金属製品	増			1		1					2		4
	減			1	1	1	3	1			1		8
15. 機械	増		1	1	1		1	1	1		2		8
	減				2		4	3	2	1	5		17
16. セメント	増		1	2		1				2	4		10
	減		1	1		1	2		3		3		11
17. その他の窯業品	増			1		1	1	1			1		5
	減		1			4	1		1		2		9

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増										
18. 揮発油	減			1	1				1	1		4
19. その他の石油製品	増									1		1
	減	2	4	1	4		1	1	2	3		18
20. コークス・ その他の石炭製品	増	1										1
	減				1							1
21. 化学薬品	増							1				1
	減		1		2			1				4
22. 化学肥料	増	1								1		2
	減	1	3	2				1				7
23. その他の化学工業品	増							2				2
	減						3	2		3		8
24. 紙・パルプ	増	3	2		2	1	1	2	1	3		15
	減		3	1			1	1	1	2		9
25. 繊維工業品	増											
	減					1				1		2
26. 食料工業品	増	1	3	1	1		2	5	4	3	1	21
	減	1	5		1		2	4		2	1	16
27. 日用品	増	1		2		1	1	2	2	1		10
	減	1			1	3	2	2		2	1	12
28. その他の製造工業品	増		1							2		3
	減		2			2	1	6		1		12
29. 金属くず	増											
	減											
30. その他のくずもの	増							1				1
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	9								1		10
	減		1						1	1		3
32. 廃棄物	増	1			1	1				2		5
	減	2		1		1		1				5
33. 輸送用容器	増	1										1
	減		1					1				2
34. 取り合せ品	増		1				1					2
	減	2	3	2				4			3	14
35. その他	増		1	1		2					1	5
	減			1	4	4	2	2	1	2	1	17